

環境技術研究所ニュース：

環境技術研究所が市内富田地区の十四川を調査

2022年11月8日（火）の午前中に武本研究所長と高橋研究員らの環境技術研究所が富田地区の十四川を調査しました。10年ほど前から富田地区市民センターや「十四川を守る会」の稲垣さん(ご高齢で欠席)らと共同で調査しています。まだ、乾燥期に入っていない時期で、秋には中下流部の北觴町からは朝明川からの導水を少しですがしています。数日来の好天気で、中下流の流量は少な目でした。中流部のスーパーサンシ付近でも、流量は少なく、かつ家庭・飲食店や田畑からの排水流出があり、晩秋でも有機汚濁が認められ藻類が川床に繁茂し、窒素分やCOD（化学的酸素要求量）値はやや高めでした。河口付近の豊栄橋では、樋門が閉まって流れが滞留し、底はヘドロで海水が混じっていました。



十四川最下流部の豊栄橋で採水作業、滞留中（下は川底）





近鉄線路下の十四川はやや流れあり



北鵜町ごみ置き場の下の十四川。朝明川導水ややあり、流量は少な目



富田山城道路沿いの中流部スーパーサンシの下流では藻類は繁茂



十四川上流部の畑作地帯は用水路で流量は若干あり